

AI 時代、外国語教育・学習で 人にしかできないことは何か

講師：大木 充（おおきみつる）氏 京都大学名誉教授



開催日時：2026年11月7日（土）14:00-15:30

会場：上智大学四谷キャンパス 12号館4F 402教室

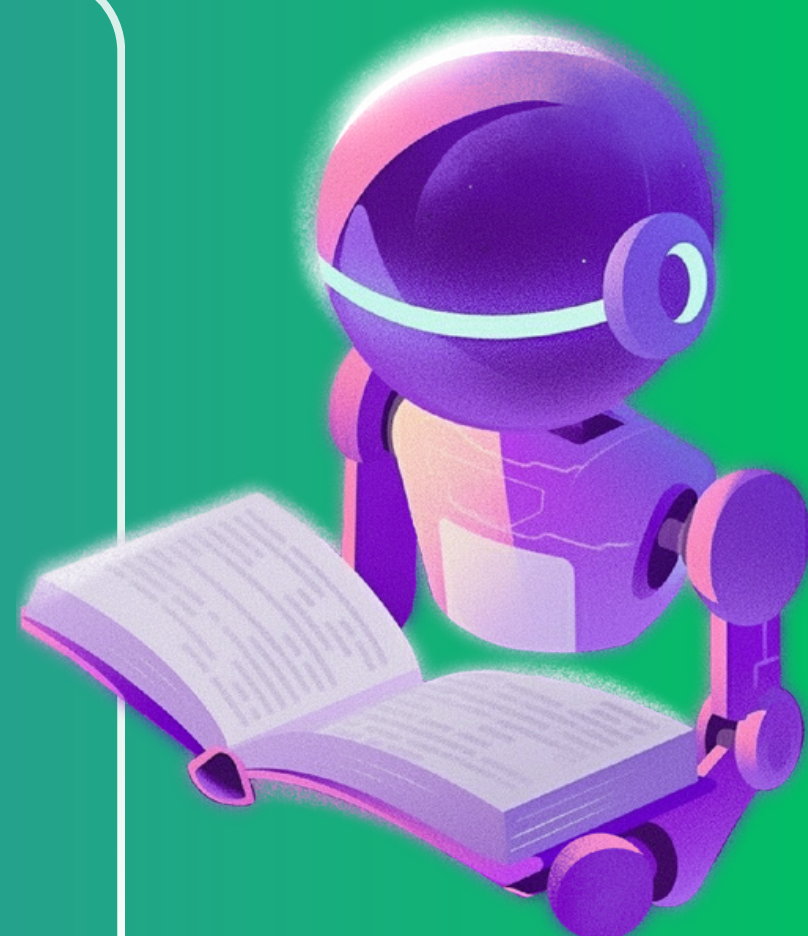
対象：言語教育全般に関心のある教員、
学生および一般の方（学外からの参加も歓迎）

参加方法：事前申込不要・参加費無料

※対面のみ、ネット配信等はいりません

講演要旨

今日できなかったことは、明日はできるようになっている。AIの世界は、日進月歩。でも、いままでの外国語教育・学習を全面的に変える必要はない。特に初級で一般的に行われている文法訳読は、ことばを習得するのに必要な「言語形式」と「意味内容」と「言語機能」を結びつけるFocus on Formがうまく取り入れられている。今後、もっと成果をあげるには、AIを用いるのに適している教育・学習とそうでない教育・学習を区別する必要がある。どのようにAIと人がうまく協働すればよいのかを考えてみましょう。



講師経歴

大木 充（おおきみつる）氏 京都大学名誉教授

外国語教育学、フランス語教育を専門とし、日本における外国語教育研究の発展に長年にわたり尽力してきた。CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）をはじめ、複言語・異文化間教育、外国語学習者の動機づけなど、幅広いテーマについて研究を重ねている。初修外国語教育の意義と可能性についても豊かな知見を有し、AI時代の外国語教育のあり方について、研究・実践の両面から精力的に発信している。

「主な著書」

西山教行・大木充編著『CEFRの理念と現実』現実編（くろしお出版）

大木充・西山教行編著『CEFR-CVの「仲介」と複言語・複文化能力』（凡人社）

大木充・小田登志子・岩根久編著『AIを外国語教育で使わない選択肢はもうない』（ひつじ書房）

主催：上智大学言語教育研究センター

【お問い合わせ】 E-mail: info_cler@sophia.ac.jp